日本語ドキドキ体験交流活動集

国際交流基金関西国際センター

開発の背景:短期コース向け

- □期間:2週間から6週間
- □レディネス:日本語既習(知識>運用)
- □ ニーズ:日本を体験したい。

日本語を試したい。

日本人と交流したい。

→日本という環境を生かした日本語学習とは…?

体験交流活動による日本語学習

教室で 準備する

必要な日本語表現と、行動のストラテ ジーを身につける 教室の外で 体験・交流する

現実場面でタスクを 遂行するために 日本語を使う 教室でまとめる

見聞きし、体験した ことを、日本語で まとめる

学習者にとっての魅力

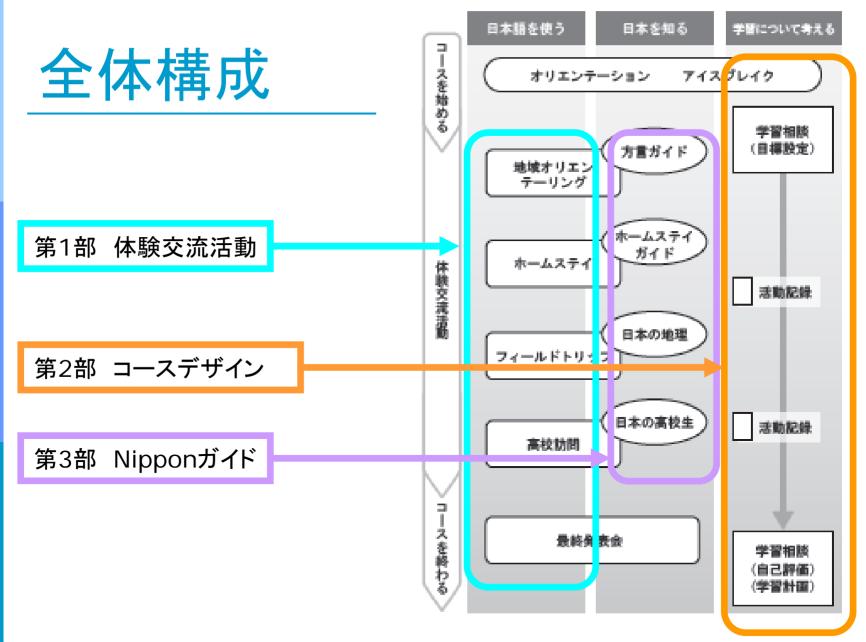
- ①楽しい
- ②目的が明確な学習活動ができる
- ③日本語環境における行動力がつく
- ④レベルなりの体験→達成感
- ⑤自らの日本語力がモニターできる
- ⑥日本についての理解を深める契機となる

教師にとっての発見

- ◎日本語レベル差のあるグループでも大丈夫
- ◎ソトでの活動は、満足度が高い
- ◎ソトに出ると、学習者は予想外の力を発揮して 意外とうまくいく

△準備が大変そう。時間もかかるのでは…





Japanese-Language Institute, Kansai

第1部 体験交流活動

11の活動(モジュール式)

- 1.地域オリエンテーリング
- 2.ご近所オリエンテーリング
- 3.タウンページを作ろう
- 4.交流会
- 5.ホームステイ
- 6.フィールドトリップ

- 7.インタビュー
- 8.小学校訪問
- 9.高校訪問
- 10.工場見学
- 11.発表会

例:ご近所オリエンテーリング



準備

- ●タスクを確認する
- ●会話を練習する



オリエンテーリング

(グループでご近所の情報収集)



まとめ ●ご近所マップをつくる

例:ホームステイ



準備

- ●ホームステイ場面会話練習
- ●家族について話す



ホームステイ



まとめ

- ●家や家族について話し合う
- ●お礼の手紙を書く

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

例:インタビュー



準備

- ●質問を考え、質問紙を作る
- ●インタビューの練習をする



インタビュー



- まとめ ●インタビュー結果をまとめる
 - ●発表する

例:高校訪問



準備

- ●自国紹介のクイズを作る
- ●高校生への質問を考える



高校訪問



- まとめ
- ●高校訪問について話し合う
- ●質問の結果をまとめる

第1部 体験交流活動

11の活動(モジュール式)

- 1.地域オリエンテーリング
- 2.ご近所オリエンテーリング
- 3.タウンページを作ろう
- 4.交流会
- 5.ホームステイ
- 6.フィールドトリップ

- 7.インタビュー
- 8.小学校訪問
- 9.高校訪問
- 10.工場見学
- 11.発表会

各課の構成(例:地域オリエンテーリング)

教室で 準備する 教室の外で 体験・交流する 教室で

まとめる

準備

会話練習 クイズや 質問の作成 など

ことば

必要な語彙 表現 話し合い 発表 レホ[°]ート作成 など

まとめ

フロント

(教師用)

活動の概要 進め方 時間

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai 活動のコツ (教師用)

留意点

ハ゛リエーション

フロントページ(教師用)





始ばの名所などをグループごとに学習者たちだけで無 り、与えられたタスクを果たして戻ってくる活動です。

- 1. 交流機能を利用し、目的始までたどりつく
- 2. 目的地で日本人といっしょに家庭を提る
- 3. 名物料理のおすすめの内を聞いて食べてみる

などのタスク活動を行います。学習者間士が知り合う 機会に包なり、また。自分論の滞在する始ばに備れる ことで行動範囲が広がります。活動機はグループで客 直を見せながら、発表します。



全体の流れ



タスクを脱明する(30分)

・地域オリエンテーリングの会話を練習する(60分)



ダン オリエンテーリング(半日)

ゲループで発表の準備をする(50分) 写真を見せながら結果を発表する(50分)



活動の概要

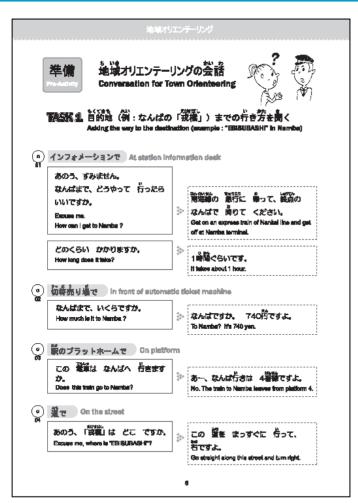


写真:活動の様子



全体の流れ、時間配分

準備





タスクを遂行するための 場面会話例

- 半分に折ってペア練習
- ・カードにしてロールプレイ
- •CDに音声あり

活動タイプによって準備の練習方法を変えると効果的

「準備」のコツ

型が使える活動

- 小学校でShow&Tell
- 高校でクイズを出す
- •発表会



型に沿って作成十分練習して

型どおりにいかない活動

- •街で人に話しかける
- •電話で会話する
- ホームステイでの会話

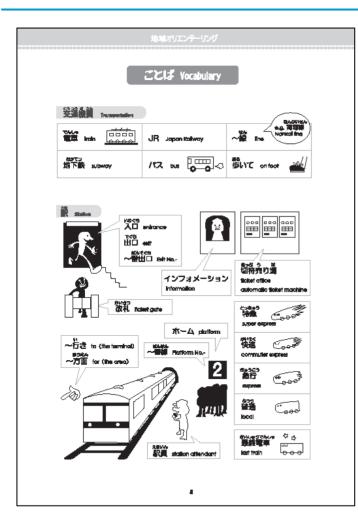


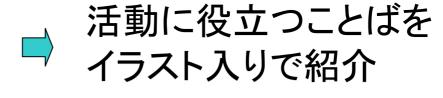
ロールプレイ(挫折) 自分たちで解決 ストラテジーと自信をつけ

教室の「ソト」へ!

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

ことば(「準備」用)





活動の前に導入しておくと、便利!

ことば(「まとめ」用)





体験の報告に役立つ 表現を紹介

- 行動を説明するための動詞
- •描写、印象を伝える形容詞

説明、描写、感想や意見を 伝える表現力を豊かに!

まとめ

Questions





質問と答えに 役立つ文型

Example





レポートや 発表原稿例

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

Worksheet

Workshoot	
Dostination and transportation	
Activity report with photos	
1	
2	
3	
• Impressions	



各自が書くため のワークシート

「まとめ」のコツ

- •体験したことを「日本語で表現してみる」ことが大切
- ・学習者の疑問や感想・意見を取り入れよう!
- ニーズによりさまざまな形でまとめられる

話す

- •ペアやグループで
- ・全体に広げる
- ディスカッションに



書く

- 各自でレポートを書く
- ・発表原稿を作り、

口頭発表する

活動のコツ(教師用)





留意点

バリエーション

タスクシート

交流相手との連絡、書式等

活動をコーディネートする 教師のためのノウハウ満載!

学習者の成果物

「地域オリエンテーリング」グループ発表ビデオ

「ご近所オリエンテーリング」ご近所マップ

「発表会」

発表原稿

内容:大阪オリエンテーリング、ご近所オリエンテーリング、

高校訪問、文化体験(茶道、書道)

学習者の様子

楽しかった!

グループで助け 合ってできた。 準備したことが本当に 活動で使えて驚いた

外で意外と通じて 自信がついた! 活動のあとに日本語で まとめるのはいい練習 になる。

第3部 Nipponガイド

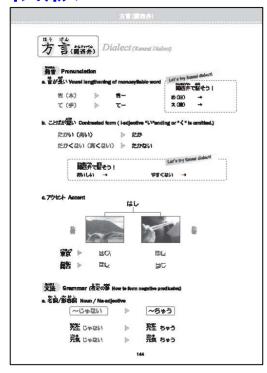
文化社会の基礎知識を紹介するガイド資料 (PowerPoint版、紙版)

- 1.日本の地理
- 2.日本の歴史
- 3.方言(関西弁)
- 4. 若者ことば
- 5.ホームステイガイド
- 6.日本の教育

- 7.アニメ・マンガ
- 8.日本の伝統芸能
- 9. 茶道
- 10.華道
- 11.書道
- 12.着付け

例:方言(関西弁)ガイド

紙版



ポイントをまとめて

PowerPoint版



写真、イラストやクイズ満載 簡単な日本語で楽しく紹介

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

「Nipponガイド」のコツ

- ガイドは日本文化社会について学習者それぞれが 知っていること、知らないことを確認する場
- •学習者の質問から自由に話を膨らませる
- ・調べ学習や観察タスクを課してもいい

興味や問題意識を引き出すことで 主体的に活動に取り組める!

(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

学習者の様子

活動前の知識として役立った

⇒ホームステイガイド、日本の教育

初めての知識、簡単な日本語でよくわかる

- ⇒日本の地理、日本の歴史
- ⇒書道、茶道など伝統文化体験の資料として

日本語のバリエーションに興味深々、すぐ使ってみる

⇒関西弁、若者ことば、アニメ・マンガ

第2部 コースデザイン

コースを始める

- ・オリエンテーション
- ・アイスブレイク

コースを終わる

- ・コース評価
 - アンケート

コースデザイン例

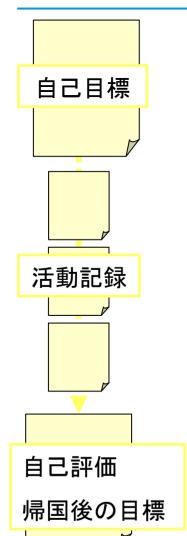
- ・5日間
- ・2週間
- 6週間
- ・2ヶ月

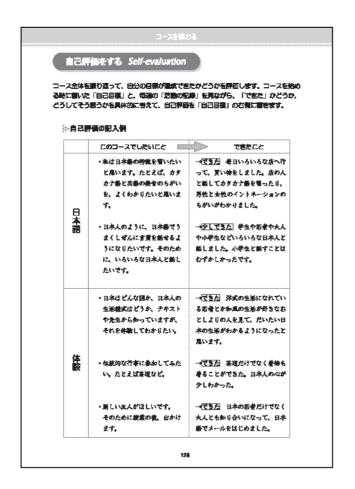
学習者主体の評価のためのツール

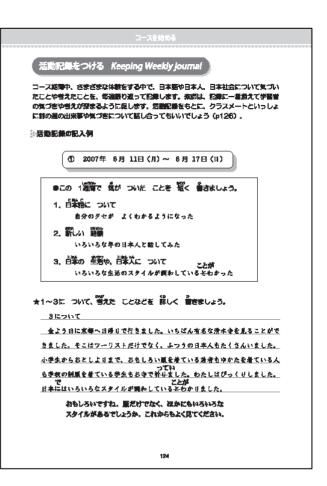
(C)The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai



学習者主体の評価







(C)The Japan Foundation
Japanese-Language Institute, Kansai

コースデザイン例

5日間コース

日本語の入門レベルが終わった程度の学習者が日本を初めて訪問し、1週間ぐらいの滞在期間の 中で日本語を使った体験交流活動を組み入れる場合のコースデザイン例です。基本的に午前を教 室での準備やまとめの時間、午後を外での体験交流活動の時間とします。交流会、ホームビジッ トなど日本人との交流の機会を入れると、短くても達成感のあるコースになります。コースの最 後は各自の体験をまとめた簡単な発表で締めくくります。

В	曜日	9:00 - 9:50	10:00 - 10:50	11:00 - 11:50	午後	
1	Л	オリエンテーション アイスプレイク	地域オリエンテ		始城オリエンテーリング	
2	火	地域オリエン	文化体験 (着付け)			
3	水	交流会	· 準備	方言 (関西弁) ガイド	交流会	
4	木	交流会 まとめ	ホームビジット 準備		ホームビジット	
5	金	ホームビジット まとめ	発表会 準備		発表会 修了式、アンケート	

5日間~2週間: 体験交流活動中心 1日目AM 準備 PM 活動 2日目AM まとめ

コースデザイン例

6週間コース

海外で日本語を学んでいる初級から中級レベルの大学生が来日して、学んできた日本語を使って みるためのコースデザイン例です。トピック別資料に基づいて日本・日本人について学び、ディ スカッションする「日本理解」、自国や専門についての会話や口頭発表を行う「スピーチ」、日 本や日本人についてのグループインタビュープロジェクトを行う「インタビュー」などの日本語 特麗と体験交流活動を有機的に組み合わせます。

		1	2	3	4	5	6		
8	曜日	900-950	10:00 - 10:50	11:00 - 11:50	1320-14:10	1420-1510	15:20以降		
18	*	生活オリエンテーション、アイスプレイク			ブレースメントテスト		コンピュータガイ		
19	金	インタビューと学習相談			日本語学習オリエンテーション				
20	±	地域交流団体によるご近期ガイド							
21	8								
22	Я	地理・歴史ガイド	使ガイド 日本理解1 (日本のイメージ) 学階の振り返り① 自己日標設定		演略会、大阪ガイ				
23	火	大阪オリエン学者 大阪オリエンテーリング							
24	*	,	東京ガイド						
25	*								
26	金	東京研修政庁							
27	±								
28	8								
29	Я	一週間の振り返り	日本理解2(伝統行事)	スピー	- 5 1	連絡会		
30	火	日本理解3(ポップカルチャー)			スピーチ2				
1	*	日本理解4(女性)			スピーチ3				
2	*	日本理解5(嬉しことば)		b	スピーチ4		ホームステイガイ		
3	金	文化体験② 響道			スピーザ5				
4	±	ホームスティ							
5	В	ホームスティ							
6	Я	一週間の振り返り	日本理解6	(後級)	交流命① 均填3	と英国体との会話	連絡会		
7	奥	日本理解7(教育) スピーチ6							
8	*	日本理解8(大学生)			学者のらりかえり② 学者方法の共有		維統学習用數材能		
9	*	日本連解9 (まとめ)			スピーチ7				
10	金	交流会心 大学妨碍とスピーチ角表会、大学生との交流							
11	±								
12	8								
13	Я	祝日							
14	火	一連弩の振り返り インタビュー1 インタビュー			准絡会、京都ガイ				
15	*	交流会団 地域交流団体へのインタビュー		インタビュー3					
16	*	インタビュー4			交異命④ 大学生	へのインタビュー			
17	金	京都研練教庁							
18	±								
19	В								
20	Я	一週間の振り返り	インタビ	a=5	インタヒ		選絡会、仮應ガイ		
21	火		インタビューア		インタヒ				
22	*	インタビュー9 インタビュー発表会				1一角喪命			
23	*			店會研	柳 駅庁				
24	金								
25	±								
26	В								
27	Я	学者の振り返り念 自己評価と雑請学習日標設定							
28	火		最後の学習初談		コース評価	アンケート	维了式		

6週間〜2ヶ月: 他の日本語科目と 組み合わせて

- ・日本理解
- ・スピーチ
- ・インタビュー

C)The Japan Foundation

Japanese-Language Institute, Kansai

考えてみてください

■どんな活動ができそうですか。 みなさんの現場で使えそうですか。

□どんなところが大変そうですか。

「活動」の良さ

- □小さなゴールのある学習
- □目的が明確→強い動機付け
- □大きく成功、小さく失敗→自己評価
- □言語以外の能力が使える
- □言語以外の学びがある

どんな学習者に向いているか

- □大人の学習者
- □学びにくい学習者、不器用な学習者
- □動機付けの必要な学習者

どんな時に「活動」を取り入れる?

- □長期滞在者
 - ・文法学習の合間やまとめとして
 - ・文法学習につまづいた時に
 - イベントと組み合わせて

- □短期滞在者
 - 活動をいくつか組み合わせて



来日したばかりのときって、みんな緊張してコチコチなんだけど・・・



- ●地域オリエンテーリング
- ●ご近所オリエンテーリング



自分の日本語力を過信/過小評価している みたいなんだけど・・・



- ●ホームステイ
- ●小学校訪問
- ●インタビュー



最近、学習者のやる気がなくなってきたよう に感じるんだけど・・・



- ●交流会
- ●高校訪問



敬語がなかなか使えるようにならないんだ けど・・・



- ●交流会
- ●発表会

付属CDR 関西弁 若者ことば アニメ·マンガの 日本語



教室ではなかなか日本語の運用に結びつ けられなくて・・・



『日本語ドキドキ体験交流活動集』

質疑応答

ご自身の現場で、 体験交流活動をどのように 取り入れられそうですか? どんな点が難しそうですか?